

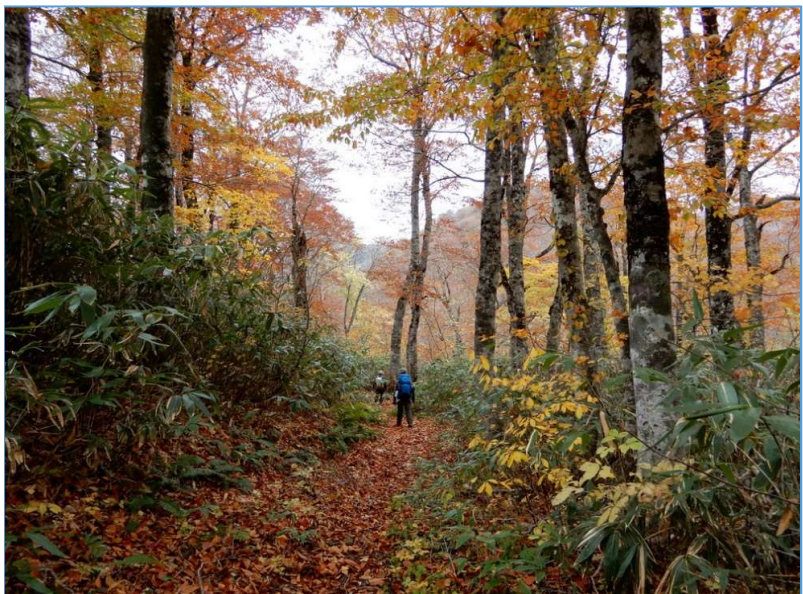
調査年月日: 2017(H29)/10/18(水)

調査区間: 滝ノ上～三ツ石山荘

調査等参加者: 広野、民部田、阿部



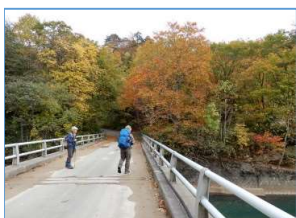
標高850m付近の急坂



標高915m付近、ブナ林が美しい



滝ノ上園地休憩舎の背後にある南八幡平自然休養林案内図



滝ノ上橋



三ツ石山登山口案内板 (標高約635m)



同左のルート案内図

[メモ]

文責: 阿部丕顕

1 調査主眼点

- ① 登山道の状況 (特に木歩道)、危険箇所有無確認
- ② 誘導標等の状況確認
- ③ 眺望地点等登山道の魅力再確認

2 調査結果

(1) 総括

- ・ 古くからの登山道で、しっかりしている。
- ・ 崩落地の登山道補修や誘導標識の整備が望まれる。

(2) 登山道の状況等について

- ・ 特に危険を感じさせる区間はないが、登山口近くの崩落地の登山道整備が必要である。
- ・ 木階段が古くなり一部腐朽破損もあるので、改修の必要性を検討したい。
- ・ 2年ほど前に刈払いされたと思われ、歩き易い。

(3) 誘導標等について

- ・ 区間内の誘導標識は連絡道分岐の1ヶ所だけである。途中の林道交点と水場に距離を入れた誘導標の設置が望まれる。

(4) 登山道としての魅力

- ・ 眺望点は少ないが、ブナやミズナラの大木が茂る森の径で、自然の懐に抱かれるような安らぎを感じさせてくれる。
- ・ 奥産道からの連絡道が出来てからは利用者が少なくなったが、秋田駒ヶ岳から岩手山や八幡平への縦走路として貴重なルートであり、大事にしたい。

(5) 参考

- ① 今回の踏査総延長約8.7Km(往復)、標高差約660m
所要時間は全行程約5時間 (昼食休憩含み)
登山: 滝ノ上園地～三ツ石山荘 約2時間40分
下山: 三ツ石山荘～滝ノ上園地 約1時間40分
- ② 記録写真提供
一部、民部田氏に画像提供いただいた。協力感謝。



誘導標「三ツ石入口」



すぐに急坂となる
古い木階段が続く



登山道崩落地(標高約690m)・・・倒木の下をくぐる
前年までは一部崩落があったが、登山道に倒木はなかったとのこと



標高約700m付近



標高750m付近、御所ダム雨量観測施設



「滝ノ上遠隔雨量観測所」の標示
(昭和46年9月設置、国交省)



標高約810m地点、三ツ石山を望む
左から小畚山、三ツ石山



標高約815m付近、
観測機器が設置されている



同左、
シートで覆われた機器
四方のセンサー?から
ケーブルが繋がっている



標高約825m付近



標高約835m付近



標高約880m付近、ブナの大木



林道交点(右が滝ノ上、三ツ石は左に入る)
奥が網張方向



交点右角の朽ちた標識



同左、2016/05撮影



標高約890m付近



標高約950m付近
木道が落葉に埋まっている



標高約1,010m付近、水場
「南八幡平自然休養林保護管理協議会」
「盛岡森林管理署」の標示があるが、
「水場」標示はクマの被害で消失
(撮影: 民部田)



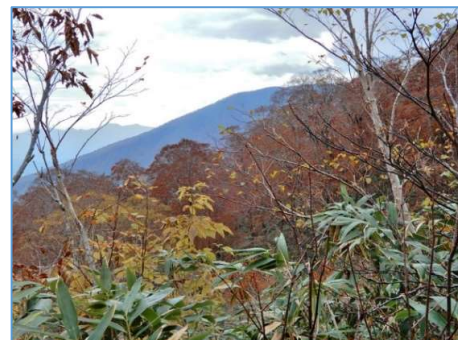
地下水吐出口
登山道の沢側下方
約5mの場所



標高約1,030m付近、登山道北側の沢温泉変質を受けた地層が露出



標高約1,060m付近、東側の眺望開ける



同左地点からの眺望、ブナ林の紅葉が印象的



標高約1,150m付近、奥産道に近い



連絡道分岐点



分岐点の誘導標識
「三ツ石山荘1.1km」
「滝ノ上温泉3.2km」
「大松倉橋2.4km」



標高約1,210m付近、眺望良好



同左からの眺望、乳頭山と葛根田地熱発電所施設



三ツ石湿原と避難小屋「三ツ石山荘」



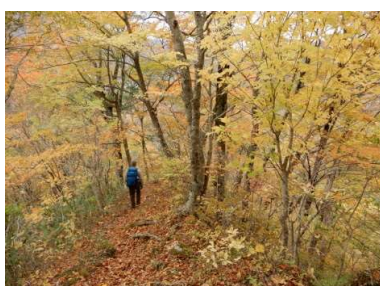
三ツ石湿原と三ツ石山



三ツ石湿原と大松倉山



標高約900m付近、ブナの紅葉鮮やか



標高約790m付近



(撮影：民部田)
標高約780m付近を下る



標高約690m付近
樹間に滝ノ上園地Pが見える